

第 151 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 29 年 12 月 21 日（木） 13：05～14：33

場 所：浜田市役所 4 階講堂 AB

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 河上課長 村木室長 市原課長

岡田室長 山根課長 島田館長 長見所長 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：湯浅係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について（資料 1）
- (2) 浜田市公立学校等施設整備計画の事後評価について（資料 2）
- (3) 公民館職員（主事）の選任について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

1 教育長報告

石本教育長

今日は私の都合で 13 時からの開催ということで、委員方には大変ご迷惑をおかけした。申し訳ない。12 月に入り、インフルエンザがこちらにも広まってきた。三隅小学校では学級閉鎖、学年閉鎖が出ている。今から年末年始、そして 1 月 2 月にかけてまた流行ってくるだろうと思う。うがい、手洗いの励行については学校にも指導していただく様に伝えているので、委員方、それから職員の皆様方には十分注意していただきたいと思う。

① 11 月 22 日（水）第 43 回島根県中学校長研究大会浜田大会（県大コンベンションホール）

昨年度は、小学校の校長先生の大会が浜田であったが、それに引き続いて今年は中学校の校長先生の大会ということで、大会主題「社会を生き抜く力を身に付け、未来を切り開く日本人を育てる学校教育」の元に、提案発表とか、研究協議などが午前中のところで行われたところである。午後からは三隅の久保田彰さんが講師ということで、「地域に根ざした石州半紙」と

いう題で石州半紙のPRをしていただいた。他の市町村から来られた校長先生方も、大変スムーズな大会運営で、中身のある良い研究大会であった」といった評価をされたと同っている。

② 12月1日（金）浜田市議会定例会《市長所信表明・提案説明・全員協議会》

同じく12月1日に小中学校の校長、教頭の、簡単に言うと昇任試験の2次の合格発表があった。浜田市内の小学校、中学校で言うと、校長先生は8人受けられて1人が合格ということであった。教頭先生は12人受けられて2人が合格ということで、去年に比べて浜田市内は少し成績が悪かった。去年は実は、浜田市は県内でも1番合格率が良かったといった様なことがあったが、今年は一転して少し悪かったという様な状況であった。今後、校長先生方の退職の人数が増えるということで、新たに昇任される校長、教頭の数当然必要となってくるが、そういった中で、是非地元の人に試験を受けていただいて頑張っ合格していただければと思っているところである。

③ 12月2日（土）第69回全国人権・同和教育研究大会島根大会（～3日（日））（くにびきメッセ、県民会館、ビッグハート出雲 他）

2日間で12,000人の方が参加された、大変大きな研究大会であった。くにびきメッセが主会場で、最初に開会式、基調報告といった様なものがあったので、私も土曜日の午前中だけは松江で参加させていただいた。その後、松江の各会場は、学校教育関係の人権同和教育について、それから出雲市内の各会場は、社会教育における人権同和教育について分科会が開催された。

④ 12月5日（火）定例校長会（中央図書館）

この中で、今年度の青少年読書感想文コンクール島根県大会の審査結果について話をした。小中学校の読書感想文コンクールは毎日新聞が主催でされるコンクールであるが、毎年、市内の多くの学校から作品を出される。小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、それから中学校の部ということで、4つの部門に分かれている。それぞれ部門で2名ずつ最優秀賞がある。4部門であるから全員で8人である。その8人の内、3人が浜田市内の小中学校の児童生徒であった。国語の教育に力を入れるということで、調べる学習コンクール等も続けてきてい

る。それから、学校図書館活用教育というものも色々な学校で指定校制度も受けながら取り組んでいるが、そういった様な成果が少しずつ現れたのかなという気がしていて、普段の先生方の取組について校長先生方にお話をし、御礼を申し上げたところである。

⑤ 12月6日（水）第45回浜田市創作ダンス発表会（石中央文化ホール）

私は議会であったので、欠席させていただき藤本委員に代わりにご挨拶をお願いし、大変ご迷惑をおかけした。この創作ダンスも、年々参加する学校が減ってきている。高校が出場する年もあるし、しない年もある。去年までは幼稚園も出場していたが、今年は幼稚園の出場もなかったと聞いた。これは45回続いている歴史のある発表会であるので、是非続けていければと思っているが、学校現場は色々な行事がある中で、この創作ダンスは小学校で言うとだいたい3年生、4年生の中学年の辺りが出場する行事であると捉えている様であるが、引き続き開催できる様に、教育研究会の皆様方ともご相談していきたいと思っている。

⑥ 12月10日（日）平成29年度浜田市学校保健会講演会（いわみーる研修室）

そこにある様に、国立循環器病研究センター研究所の小倉室長が来られて講演された。演題はそこに書いてある様に「家族性コレステロール血症の早期診断と適切な治療のあり方について」ということである。浜田市は約30年前から、生活習慣病の予防ということで、中学校1年生と小学校4年生を対象に血液検査をする中で、動脈硬化の危険因子の検査を行っており、そういった活動については、先生からも高く評価をいただいたところである。

⑦ 12月10日（日）第26回浜田一益田間駅伝競走大会しおかぜ駅伝閉会式

この大会は、旧市町村単位で出場するので、浜田市からも5チームが出場した。浜田チームが1昨年が3位、昨年が2位ということで順番で行くと今年は1位の予定であったが、今年は健闘したが3位であった。中でも、今年は旭のチームが頑張られて、去年、32位であったが、今年は18位ということで、大健闘されている。社会人の2人の選手の方が大変に頑張られ

て、上位に食い込むことができたということである。

⑧ 12月12日（火）平成29年度島根県学力調査・1日目

⑨ 12月13日（水）平成29年度島根県学力調査・2日目

今年度の島根県の学力調査があった。今年の問題は非常に難しい問題であったと中学校の先生から聞いたところである。あまりに難しすぎて平均点が低いので、差があまり出ないのではという話もあったが、問題の傾向が全国とは多少違うといった様なところもあって、これについても結果が1月の終わり頃には戻ってくると思うので、その辺のところを十分に分析をして、今後の対応を考えたいと思う。

⑩ 12月14日（木）平和学習【コマツ地雷除去出前授業】（原井小、雲城小）

⑪ 12月15日（金）平和学習【コマツ地雷除去出前授業】（雲雀丘小）

平成27年度1月にもこういった平和学習を行っており、そのときは4つの小学校で実施しているが、今年にはそこには3校書いているが、実は1月にももう5校行う予定にしており、今年度は8校の小学校でこの平和学習の出前授業を実施することにしてている。コマツというと重機の会社であるが、そういった建設機械の技術を活かして、地雷を掘って処理をする、そういった社会貢献活動を世界に渡って実施しておられ、そういった報告、世界のあちこちにはまだ地雷が数多く埋まっています、多くの被害があるという現実についてお話をされて、平和について考えるという授業であるが、そういった取組を小学校でしていただいているということである。

⑫ 12月17日（日）浜田開府400年記念プレ講演・座談会（県大コンベンションホール）

27年、28年、29年度ということで3回目になるプレイベントを開催したところである。第1部が講演会で、そこにある岩町先生、隅田先生、阿部先生がそれぞれそこに挙がっている様な演題でご講演された。その後市長がコーディネーターとなって、座談会、シンポジウムの様な型で話をされた。「江戸時代の浜田と港」という題で話をされて、今、日本遺産に北前船の寄港地にある外ノ浦の町を、寄港地として浜田も名乗りを挙げている。そういった話題も出て中身のある講演会であった。210名の方が出席をされていた。浜田には歴史に関心のある方

が大変多いという気がしていたが、ご高齢の方が多く、若い方が少なかったのが、少し寂しく感じたところである。

阿部先生の演題「客船帳からみた浜田港の物流」の字が間違っているので「湊」を「港」に直していただきたい。失礼した。

⑬ 12月18日（月）第31回全国都道府県対抗中学バレーボール大会出場報告

金城中学校3年生の河内さんが、市長の都合が悪かったため、教育委員会へ出場報告ということで表敬に来ていただいた。毎年ではないが、2年に1回くらいは、島根県の選抜チームに、金城中学校か浜田東中学校の生徒が入って大会に臨まれるということがあるが、今年は金城中学校から出場ということであった。身長も170センチメートルくらいあり、アタッカーとして頑張るということを話しておられた。

⑭ 12月20日（水）平成29年度浜田市人権作品コンクール表彰式（浜田公民館）

31名の方が優秀賞、それから最優秀賞ということで、表彰したところである。

⑮ 12月21日（木）第4回浜田市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式（中央図書館）

今日は、この定例教育委員会の後に、図書館を使った調べる学習コンクールの表彰式を、中央図書館で15時30分から行うことにしている。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

私が教育長の代理で出席した創作ダンスの発表会で、私を感じたことを申し述べたい。事務局から創作ダンスについての資料を送っていただいたので、私なりに見させていただいてアレンジして原稿を作ったのだが、1つ、驚いたことがあった。ここには45回と書いてあるが、今日まで続けているのは日本で浜田だけであるということが資料の中にあった。これには私も大きく感心した。しかも、これは形がないものを学校の先生の指導で子どもたちがそれを理解し、動いているということで、初めて見たのだがとても感心した。よく30人、40人、50人の子どもたちが1人1人自分の役割を果たしていると感心したので報告しておきたいと思

う。

それからもう1つ、1週間前にテレビで放送していたことについて。安来高校のバレーは男子も女子も県内ではトップである。特に男子のバレー部を取材し放送していたが、ほとんどが寮に入っているというスタイルである。練習が終わると夕食であるが、夕食は監督さんが作っておられるということである。監督さんが包丁を握って野菜を刻んだり、鍋をあちらこちらへ持って行っておられたりした。それが終わってから簡単なミーティングがされている様で、公立高校でそこまでされているのかと驚きと関心を持ったのでご報告する。

石本教育長

私の近所の子どもさんも、本来なら浜田第一中学校へ入学するところを、バレーがしたいということで金城中学校に行き、安来高校に行った子どもさんがおられるが、やはり県外からたくさん集まっておられる。

その他に何かあるか。

金本委員

昨日、人権作文コンクールに出席させていただき、お世話になった。この作品集を帰ってからじっくり読ませていただいたが、作文で、縦書きになっているものを横書きにするのは大変難しいと思うのだが、表記上、学校でチェックをされていないというか、それをそのまま書かれているのではないかと思うのだが、さっきの「読書感想文を学校で大変よく見ていただいて有難い」というお話に水を差す様であるが、学校であまり見てもらっていないのではないか。

村瀧室長

こちらで「ちょっとどうかな」という表記に関しては、学校に戻して子どもさんと相談してもらい、どうするかということは学校で決めてもらっている。

金本委員

表記というのは表現ではなく基本的なことで、段落が全くないものや、段落が多すぎるものとか、そういった表記上の違いが目についた。基本的なことであるのでチェックしていただきたいと思う。

石本教育長

学校で一応見てから出してもらっているのか。

村瀧室長

そうである。学校で見てもらったのを出されて、入賞された子どもさんに関してはこういった作品集にするので、もう1度確認してもらってはいるのだが。

石本教育長

段落の作り方までは指導がいつてなかったのかもしれない。また来年度以降は良くなるとよい。

| | |
|--------------|--|
| 金本委員 | 作品によっては2段落しかなく読みにくいものや、1行ごとにすぐ段落になっているものがあつた。そういった表記上のことは学校でチェックしてもらいたいと思った。 |
| 石本教育長 委員方 | ありがとうございます。その他はよろしいか。 はい。 |

2 議題

(1) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について(資料1)

| | |
|------|---|
| 湯浅係長 | 資料1の1ページをご覧いただきたい。改正することとなる規則は「浜田市教育委員会事務局組織規則」であり、目的、その理由の具体的な内容は、明日12月22日(金)から24日(日)にかけて、西分庁舎3階の教育委員会の事務局及び第2東分庁舎の文化振興課が北分庁舎の1階、2階に移転し、25日(月)から業務を開始するというものである。 |
|------|---|

10月に開催した教育委員会定例会において、住所表記については、これまでと変更なく青少年サポートセンターを除いて、浜田市殿町1番地とするとお知らせしているが、規則における位置は、実際の位置である浜田市殿町22番地とすることとなったため、この規則について所要の改正を行うものである。

概要である。1点目は、事務局の位置の改正として、浜田市殿町1番地から浜田市殿町22番地へ改正する。2点目は、事務局の位置の変更に伴って、人権同和教育室は現在の浜田市殿町1番地に残ることから、人権同和教育室の位置を規定する必要性が生じる。また、事務局の移転先の位置に青少年サポートセンターも含まれることとなるので、これらの位置等を整理するため所要の改正を行う。

具体的な改正規則は、2ページをご覧いただきたい。また、改正前後を比較するための新旧対照表を3ページに記載しているので、併せてご覧いただきたい。なお、施行日であるが、教育委員会の事務局は12月25日から北分庁舎での業務となるので、その日と合わせるため平成29年12月25日としている。

| | |
|-------|--|
| 石本教育長 | 教育委員会事務局の移転に伴って、住所を規則上変えるということである。これはあくまでも規則上変わるということであつて、郵便物等は、浜田市殿町1番地で良いということか。 |
|-------|--|

| | |
|------|---|
| 湯浅係長 | そうである。その部分については総務課等と調整しており、今後は都市建設部も併せて、浜田市殿町1番地で運用されるという |
|------|---|

| | |
|-------|---|
| 石本教育長 | ことを確認している。 |
| 湯浅係長 | 教育委員会の封筒にも住所があるが、それも今までどおり浜田市殿町1番地であるか。 |
| 石本教育長 | はい。 |
| 藤本委員 | であるなら変えなくても良いのではという気がするが、規則上は変えなければならないという法令文書係からの指示があった。 |
| 湯浅係長 | そのギャップが出てはこないか。ここで設置条例の改正をすれば、それと現実が合わないのではという意見が出てはこないか。 |
| 藤本委員 | 規則を読まれるのであればそういった方もおられるかも知れないが、「本庁舎全体としてこの様な運用をする」という説明をされると聞いている。 |
| 河上課長 | 住所の表記というのは現実主義であるから、整合性がないような気がするが。 |
| 石本教育長 | 現在浜田公民館にある教育委員会の住所は、浜田市殿町6番地であるが住所変更をしていない。そのこともあり変更しなくても良いのではないかと言った。であるから、現在教育委員会が使用している浜田市殿町1番地も現実の土地地番とは違っている。その辺も含めて、市役所の位置表示は浜田市殿町1番地ということで統一するということになった。今回、たまたま北分庁舎は本庁から少し離れるので「規則の改正をしなさい」ということである。 |
| 委員方 | 河上課長から説明があったが、何か質問があるか。 |
| 石本教育長 | 特になし。 |
| | それではこの規則改正については承認をいただくということで進めさせていただく。ありがとうございました。 |

(2) 浜田市公立学校等施設整備計画の事後評価について (資料2)

| | |
|------|--|
| 河上課長 | <p>国から交付金とか負担金をもらって色々な改修事業をしている。今回であると、弥栄小学校の体育館と原井小学校の体育館の天井撤去、松原小学校のトイレの洋式化と、この様なもので交付金、負担金をもらうわけであるが、施設整備計画を作ってその計画によって、年次計画をもって実施している。要するにその事業を実施した後に、事後評価をしなさいという決まりがあり、こういった形の評価、報告をしなければいけないということになる。内容は順次説明させてもらう。</p> <p>めくっていただいて2ページの「(1) 実施時期」というのが、本日の教育委員会の会議で評価をしていただくということにし</p> |
|------|--|

ている。「(2) 評価の方法」というのが、「定例の教育委員会において、目標の達成状況の説明を行い評価する。」ということで、「4. 総合的な所見」を記載しているが、「施設整備計画の目標は達成できた。平成 28 年 9 月に弥栄小学校屋内運動場が竣工し、これにより、学校施設の耐震性のない建物の耐震対策は終了した。さらに非構造部材の耐震対策（屋体の吊天井撤去等）に取り組んでおり、原井小学校屋内運動場の吊天井撤去工事を実施した。

また、教育環境の改善のため、トイレの洋式化に取り組み、松原小学校のトイレの一部を洋式化する工事を実施した。」としている。

順次、各項目であるが事業ごとに行っているもので 3 ページになる。「(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備」ということで、目標の達成状況については、「目標を達成した」ということになっている。「平成 28 年 10 月に弥栄小学校屋内運動場が竣工し、これにより、学校施設の耐震性のない建物の耐震対策は終了した。非構造部材の耐震対策については、年次計画を立て、平成 28 年度は原井小学校屋内運動場の吊り天井撤去工事を実施した。

（繰越事業）あわせてバスケットゴールの補強工事も行った。避難所でもある学校施設の屋内運動場の安全確保を図ることができた。」としている。

次に「(4) 教育環境の質的な向上を図る整備」で目標の達成状況は「目標を達成した」として「教育環境の改善のため、トイレの洋式化に取り組んだ。洋式トイレが設置されていない松原小学校のトイレの一部を洋式化する工事を実施した。各階のトイレに洋式トイレ 1 基を設置するよう校舎全体で 12 箇所の和便器を洋便器に取り換えた。（繰越事業）」としている。下の 6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況ということで、弥栄小学校になるが「旧屋内運動場は平成 27 年 9 月 29 日に解体工事を完了し、現地改築している。」としている。

続いて、次のページで一覧表にしている。それぞれ、不適格改築とか防災機能強化という区分にしている。基本的に国の補助事業、交付事業として実施しているので、目標を達成しないということは、震災などの大きな災害で事業が中断しない限りは目標を達成したと書かざるを得ないということもあるし、現実、その事業に沿って行っているので、目的は達成できたという形の評価をしている。5 ページは事業区分等を載せているのでまたご覧いた

| | |
|-------|--|
| | <p>だければと思う。</p> <p>事務局としては目的に沿った事業を実施したということで、目標を達成したという報告をさせていただければと思っているのでよろしくお願ひしたい。</p> |
| 石本教育長 | <p>これは 28 年度の事業についてここで評価をするというものであるのだが、28 年度からそういったことをしなければならなくなったのか。それとも以前からか。</p> |
| 河上課長 | <p>25 年度まで教育委員会にいたが、私が知っている限りは記憶にない。新しくできたのではというところである。いつスタートなのかは把握していない。27 年度にしていなければ新たな取組ではないかと思う。</p> |
| 石本教育長 | <p>今まではおそらくこの様なことはしていない。</p> <p>ただ今事務局から説明があった様に、平成 28 年度中に国の補助金、交付金を使って行った事業について 3 件あったが、弥栄小学校の体育館の新設、原井小学校の屋内運動場の吊天井の撤去工事、それから松原小学校のトイレを一部改修する工事ということで、この 3 件については計画どおり実施をして目標を達成したという報告であった。意見、質問等あればお願ひする。</p> |
| 金本委員 | <p>この工事によってどこの学校にも洋式トイレがあることになったのか。</p> |
| 河上課長 | <p>年次計画で順番にさせてもらう予定である。</p> |
| 石本教育長 | <p>33 年度までには各小中学校の各階には 1 個ずつできる様な計画を立てている。</p> |
| 河上課長 | <p>国もその辺には力を入れており、今回また追加補正の予算がある様な話がきているので前倒しができれば一番良いが、今の段階では 33 年度までにはという計画となっている。</p> |
| 金本委員 | <p>幼稚園はどうなっているのか。</p> |
| 石本教育長 | <p>幼稚園は簡易のものを使っている。</p> |
| 宇津委員 | <p>屋内運動場の吊天井は、全校で終了しているのか。</p> |
| 河上課長 | <p>これも計画で順番に行っている。</p> |
| 石本教育長 | <p>今工事が終わったのが浜田東中学校と原井小学校の 2 校である。あと 5、6 校ある。</p> <p>今後はこの様な評価を、毎年 1 回はどこかの定例教育委員会でやらなければいけないということであるか。</p> |
| 河上課長 | <p>そうである。</p> |
| 石本教育長 | <p>特に意見等は良いか。</p> |

委員方
石本教育長

はい。
それでは事務局から説明があった様に、目標については全て達成したということで評価をし、国へ送りたいと思う。

(3) 公民館職員（主事）の選任について（資料3）

山根課長

杵束公民館の明瀬主事が11月30日をもって辞職したため、後任として選任するものである。地元の弥栄町杵束にお住まいの金高真輝さんという女性の方で43歳になられる。この方は以前に2回ほど杵束公民館へ勤務された経験があり、通算で4年近く勤務しておられるということで、この度は、ハローワークへ求人を出し、数人応募があった中で金高さんに任命をしたということである。任期については、12月1日から来年の3月31日までで、募集と面接の日程の関係から事後承認ということになるが、よろしくお願ひしたい。

石本教育長

ただ今説明があった様に事後報告、事後承認ということで、既に、12月1日から勤務されているということである。以前も4年間の勤務があったということであるから、公民館の業務については十分承知をされていることと思う。

何か質問等あればお願ひする。

藤本委員

ハローワークに応募があって、結局この方が採用されたということであるが、弥栄の杵束公民館の募集であったが、応募される方は弥栄の方以外にもあるのか。

山根課長

もちろんある。

藤本委員

例えば県外という方もあるのか。

山根課長

詳しくはチェックしていないが、県外はおそらくないと思う。通勤の関係もある。例えば今までの例で江津市からという方はおられる。

森下分室長

弥栄の公民館主事は、以前から全てハローワークで求人を出している。今回も、前から聞いてはいたが前任の明瀬主事が家庭の事情で広島へ帰られるということで募集したが、応募者が6名おられた。そのうち2名が金高さん含め地元の方で、あとは旧市内の方であった。今回は市外からはなかったが、今までも何回かやっているうちにそういった様なケースもあったという様な状況である。

藤本委員

ありがとうございます。私が思うには、公民館主事というのはある程度地域に精通とはいかなくても、地域の状況を把握されて

石本教育長
委員方
石本教育長
委員方

おられる方のほうが良いのではと思う。公募ということになると、どなたが応募されてもいいわけであるし、私の思いと現実とは違ってきているのかと感じた。特に答弁はらない。

その他は良いか。

はい。

それでは杵束公民館の新しい主事に金高真輝さんを選任するというので、同意いただくということで良いか。

承認。

3 部長・課長等報告事項

佐々木部長

平成 29 年 12 月市議会定例会 個人一般質問一覧（資料 4）

資料は 5 ページまで、それぞれ事前通告などの内容が記載されている。今回は全部で 20 人の議員が質問され、そのうち、教育委員会の関連の質問を事前通告された方は 14 人であった。

資料の 5 ページ以降からご覧いただければと思う。まず初日の 3 番目に西川議員が「外ノ浦の北前船寄港地としての活用」ということで質問をされた。北前船の関係については、後ほど述べるが、野藤議員も同様の質問をされている。内容的には文化の向上とか教育の取組とか、地元との連携という様なことを質問されている。

めくっていただいて 8 ページからであるが、小川議員からは「道徳の教科化における問題点について」ということで、内容的には、教科書検定とか教科書の選定についての質問。あるいは道徳の教科化の目的とか効果、評価と内申との関連等についての質問を色々とされたということである。

13 ページに西村議員からいただいた内容がある。（仮称）浜田歴史資料館についてのことである。西村議員については「市民評価に関する市長の認識」ということで質問されている。（仮称）浜田歴史資料館については他に、後からも出てくるが、笹田議員、川上議員、西田議員、佐々木議員の 4 人の方もこれに関する質問をされているところである。

14 ページからは、沖田議員から学校給食について質問をいただいた。項目的には給食費の徴収方法とか、あるいは滞納の状況、また、未払い世帯への対応等について質問をいただいたところである。

20 ページからは、村武議員から、はまだっ子共育プロジェクト

トについてということで質問をいただいている。具体的には「放課後児童クラブとの連携の取組」。今年度、放課後児童クラブとの連携の事業が始まったということで、それに関する内容の質問。それから、「放課後子ども教室の成果について」ということで、この様な質問をいただいたところである。

22 ページからは、芦谷議員から「浜田開府 400 年を契機とした歴史文化の市民啓発の推進」についてということで、具体的には既に作成している人物読本の活用と評価について。それから、浜田にある色々な歴史の本を 1 つにまとめて、啓発冊子を作成してはどうかという様な質問については、「中々難しいが、今後歴史に関する副読本を作成するので活用してほしい」という様な内容のお答えをさせていただいたところである。

それから、25 ページは澁谷議員からの質問である。「来年度の教育予算の増額について」ということで、本来は 3 月議会にかける内容であるが、来年度の予算の考え方について質問があったところである。

26 ページからは笹田議員で、タイトルの的には 1 年を振り返ってということであるが、この中で具体的には（仮称）浜田歴史資料館のことについて聞かれている。今の案はどうであったとか、今後のスケジュールについて質問があったところである。

28 ページからは川上幾雄議員から質問をいただいた内容について。これも（仮称）浜田歴史資料館に関する質問であって、3 月の予算取り下げ理由であるとか、その当時の建設総額とか、この（仮称）浜田歴史資料館がインフラ整備においてどういった位置づけかという様なご質問をいただいたところである。

31 ページからは西田議員から、やはり（仮称）浜田歴史資料館についてであり、立地場所や整備費用、運営経費は今後どの様に考えていくかという様な質問をいただいたところである。

それから 4 日目であるが、34 ページ、野藤議員からやはり北前船寄港地の遺産追加認定についてということで、現在の集落等の状況であるとか、こうした歴史的資料の保存や展示の考え方についての質問があった。続いて、同じく野藤議員から「スポーツ振興について」ということで、オリンピックの合宿の誘致についてのご質問。あるいはオリンピックの派遣事業、またスポーツ施設の統廃合の考え方、スポーツ施設の特化とか、特徴あるスポーツの推進についてということで、スポーツに関して

あらゆる質問をいただいたところである。

42 ページからは柳楽議員から「いじめ防止対策について」ということで、いじめ防止基本方針があるが、それにある「心の教育」の取組。あるいは、いじめ対策基本方針の効果。また、「SNS」を活用した相談についてという様なところでご質問をいただいた。

45 ページからは佐々木議員であるが、これもやはり（仮称）浜田歴史資料館についてということで、今後の整備案の作成手法についてご質問をいただいた。

最後に、岡本議員から「人材育成のしくみづくりと地域産業の振興」というタイトルは漠然としているが、その中で具体的にはまだっ子共育プロジェクト、地域の力を学校に活かす取組と支援。また、芸術文化や伝統芸能について、キャリア教育の取組と支援策についてという様な型で大きなタイトルに関連した様な質問を具体的にされたということである。それぞれ、答弁の内容等また後日確認していただければと思う。

河上課長

行事等予定表（資料5）

毎回のとおり、右から2番目に委員方の欄に丸が付いているものが案内を送らせていただいている予定である。それから、12月22日から24日にかけて教育委員会事務所の移転ということで今予定している。23日（土）に業者の搬入作業があり、24日（日）に職員がそれぞれ自分のパソコンの設定等をする予定にしている。25日（月）には通常業務を開始ということにしている。28日が仕事納め、1月3日が平成30年の浜田市成人式ということで石央文化ホールで実施される。1月4日が仕事始め、併せて同日、市民新年賀会がある。この会については委員方に送らせていただいているが、参加なしということであるからあえて丸は付けていない。1月10日が、園長、校長の合同研修会等々がある。それから案内をしているが、下の2段。1月28日の島根書初め展表彰式ということで、サンマリン浜田で行われる。1月29日に第152回教育委員会定例会を、浜田公民館の図書室としている。本来であれば北分庁舎へ移っているのですが、その会場を使えればということがあったが、全体の工事のスケジュール等や、会場の広さもまだ最終的なものが少し微妙なところもあったり、備品の導入が間に合わないということもあ

ったりしたので、1月は申し訳ないが公民館でさせていただければと思っているのでよろしくお願いします。

島根あさひ社会復帰促進センター訓練生の焼いたパンを学校給食に提供する取組（資料6）

矯正施設では色々なプログラムをされている中で、パン職員の育成ということがある。5月か6月頃であるが、矯正施設の家族の方の中学校を卒業された方が、「浜田では給食でパンが1回も食べられなかった」という様な話があったということから、矯正施設から私どもの産業経済部を通して、訓練センターで焼いているパンを給食に使うことができないかという申し出があり、関係者で色々検討し、私どもとしては、安全面、衛生面、味も含めて確認している。保護者等にも説明会をさせていただく中で、一応取組をするということで了解をいただいた。

今後の予定ということで、平成30年1月25日に旭での小中学校への提供ということで、1回に約200食を月に1回のペースで実施をしていくこととしている。パンについて協議をする中で、市長から愛称を考えてほしいということがあり、島根あさひ社会復帰促進センターで「オコッペ」という名称を付けられている。こういった名称を使って今後進めていくことにしている。

3ページにオコッペについて記載している。小学校、中学校で体格が違うので、3つの規格くらいで話をされている。まんてんでもイベントのときには、非常に好評であるということである。普段売られるときのサイズはスリッパの様な大きなサイズのものを2個で100円で売られている。訓練ということもあってあまり利益を出せないということもあるそうである。非常に安い単価である。私どもも試食をして大変おいしかった。子どもも喜ぶのではとこの様な取組をしていくこととしている。

浜田市立三隅小学校が「第10回地産地消給食等メニューコンテスト」中国四国農政局長賞を受賞（資料7）

三隅は今、栄養教諭が配置されているが、非常に熱心なこともありこういう取組をし、応募していただいたということである。2番目に受賞者とあるが、平成29年度の地産地消等優良活

動ということで、高知県高知市の JA 高知市女性部直販部会なるクラブ、岡山県瀬戸内市の備前福岡の市圏地産地消推進協議会、岡山県倉敷市の株式会社浅原青果備中美味しく食べよう倶楽部。色々なところが出した中で、三隅小学校がこのコンテストの中で賞をいただいたということで、20 日に三隅小学校で表彰式が行われている。2 面にそのときのメニューを記載している。ごはん、牛乳、おさかなゲット（骨せんべい添え）、めのは和え、日本海の荒波汁、西条柿右衛門のほっぺと、こういったメニューで応募をされた。三隅小学校では今、つながる食育推進事業の推進校の指定校にもなっており、昨年から取組んでいる地元の魚を使ったメニュー、食材供給体制の構築と色々なことに取り組まれていることも評価をされ、賞の受賞となっている。1 枚挟んでいるが、中国新聞に受賞の記事が出ていた。一番左が加藤栄養教諭。それと併せて実際に作っておられる調理員の方々が写真に出ている。

村木室長

平成 29 年度 教育施設再編推進室の取り組みについて(資料 9)
先に資料 9 から説明をする。

平成 29 年度の機構改革で、教育委員会における懸案事項や行財政改革を確実に推進する体制を構築するため、総務部行財政改革推進課に籍を置き、仕事としては教育委員会の教育総務課の内室として設置された部署である。主な業務としては、浜田市内全域の中でも特に公共施設で教育施設が多く占めており、その中でも学校と幼稚園以外の施設、いわゆる、文教施設の再編に係る基本的計画やスケジュール、更には運営方針や部内の調整窓口、進捗管理を担当している。2 つの権限ということで、公共施設のあり方の意思決定に関与できたり、教育施設再編とか懸案事業を指導する権限を持たせてもらい、調整、コーディネートやファシリテートをする内容の業務をしている。

方針としては「これからの社会に合ったようにつなぐ」と書いてあるが、先ほども「つながる食育」とあったが、やはり、つなぐことは大切であると思う。統合や協働、継続もあるし、再編となれば行革向こう 20 年、30 年も浜田市が浜田市でいられる様につなぐという思いも込めて、事業を進めてきた。

そのためには、ビジョンの決定やコミュニティー力のアップ。これは地域であったり、スポーツだと各種団体の力のアップ。

プである。それから、どうしても交通手段、交通施策の充実、それから ICT の活用。原価償却の意識ということのを思いながら調整したところである。

山根課長

第 26 回浜田一益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）の結果（資料 10）

「上位チームの成績」ということで、浜田チームが 3 位。その次の「浜田市 5 チームの成績」というところで、先ほどもあったが、旭チームについては、かなり上位に入られたということがある。真ん中どころに「区間新記録賞」「敢闘賞」「優秀選手賞」をここに記載している。区間 10 位以内の成績については 1 番下の表に載せている。前回は三隅道路の関係でコース変更があったが、この度は三隅道路の出口の関係があり 9 号線が通れないということで、裏側、海側の県道をとおり夕日パーク三隅へ出てくるというコースに変更している。その関係で前回より 200 メートルほど距離が短くなっている。いずれにしてもどのチームも健闘されたということである。

石本教育長

以上資料のあるところについてはご報告いただいた。資料がない課等で報告事項のある方はお願いします。

各課長

特になし。

石本教育長

今課長方から報告があった資料 4 から資料 10 のところでご質問があればご指摘願う。

質疑応答

藤本委員

資料 8 のご説明いただいた「3 主な意見・要望等」に (1) (2) (3) とある。この「(1) 議会関係」のところに色々書かれているが、これはどのようにしてまとめられたのか。

村木室長

抽出した内容であるか。

藤本委員

そうである。

村木室長

たくさんある中で特に気が付いたりだとか、多く出た意見をまとめさせていただいた。別の報告書にはどなたのご意見かというのが別にはあるが、それを 1 ペーパーにまとめるために多く出た意見であるとか、気が付いた意見は集約させていただいた。

藤本委員

なるほどと思う一方、語ることは簡単であるが実現性があるかということまで踏み込んだ提案がされているかということ

をみている。語るだけなら誰でも語れるので。ハードルがあるという前提で、ハードルが越えられないと 100 パーセント分かっているものもあるのではと思います、そのまとめ方について質問した。具体的な説明はなくても良い。

石本教育長

議会の一般質問であるとか、委員会で出た意見がまとめてある。

宇津委員

オコッペがそんなに美味しいのなら私も食べてみたいと思う。200 個限定で旭の小中学校ということであるが、まだ増産できる余力があるのか。隣の金城町の学校にも希望があれば提供できるという広がりのあるものであるか。

河上課長

基本的に毎日 1,400 個のパンを作っておられると聞いている。これを翌日の入所されている方の朝食に使うということである。ただ先ほどもあった様に、1 つがスリッパの様に大きなものを出しているので、子ども用は 60 グラムとか 40 グラムとかいった 3 規格を試験的にお願いしているが中々、訓練生ということも含め、旭は何とかできるであろうがその他の地区については今、少し厳しいかという話をいただいている。それと配送のこともある。矯正施設はセキュリティーの関係で、受け取って配送する。今年度は教育委員会の職員 4 人が検便しているので、交代で行う。まず矯正施設のセキュリティー上、どの様に受け取りをするか。ビニールで個包装になっており異物混入をすることはないので、まず私が受け取り、それを給食センターまで持って行き、そこから各小中学校、クラスに分けるという作業を予定している。であるので新年度以降は配送という課題が 1 つあることと、規格も 2 規格にさせていただきたいと言われたが、調整の中で 3 規格まではできるということになったので、先々ゼロではないが、今のところはやはり旭地区にあるということも含めて施設は旭で進めさせていただければという意向は伺っている。

石本教育長

1 つずつ袋に入っているのか。

河上課長

1 つずつ個包装である。

石本教育長

今も市民向けに販売しておられるが、それも個包装になっているのか。

河上課長

イベントのときにしか販売していないが、2 個を袋に入れているということである。

石本教育長

この間いただいたときにはたくさん袋に入っていた。

河上課長

この間のものは試食用ということでそのままいただいた。

| | |
|--|---|
| 石本教育長 藤本委員 | 確かに美味しかった。 コッペパンは昔からある。あっさりしているのが1つの特徴で、旭のイベントのときには2個入って100円。だから30分で完売である。 |
| 金本委員 河上課長 石本教育長 | 翌日のパンということか。 はい。前日焼かれたものを翌日のお昼に出すことになる。 私たちがいただいたものを1日置いて食べてみた。全く硬くなっていなかった。 |
| 金本委員 河上課長 金本委員 河上課長 | 普通学校に来るのは冷凍のパンである。 今は市内に業者がないので冷凍パンを解凍して出している。 その様なことはできないのか。 今は設備的にできないが、衛生面は非常に気を使うところである。委員方で「食べたい」という話があれば、給食の試食になるのかパンだけになるのかは別として、検討してみたい。 |
| 金本委員 石本教育長 藤本委員 河上課長 石本教育長 | また旭に学校訪問してみても。 パンの出る日に学校訪問を。 大きすぎて1個は食べられない。 試食のときはいつも切っている。 この間試食したものではなく、子どもが食べるものは大きさが加減してあるものである。 |
| 河上課長 | 試食用のものは100グラムくらいある。子ども用のサイズは40、60、80グラムくらいである。低学年、中学年、高学年、中学生用に分ける。パンの森の方が教えに行っておられるということである。その日の温度、湿度で配合を全部変えると言っておられた。訓練生は、将来パン職人、開業を目指してされているということである。 |
| 石本教育長 委員方 | その他質問はあるか。 特になし。 |

4 その他 湯浅係長

11月の教育委員会定例会において議題とさせていただいた教育委員会委員の視察研修についてである。

コミュニティ・スクールに関する視察として、山口県の長門市教育委員会へ打診をし、視察について受け入れていただける旨の回答をいただいたので、現在調整を行っているところである。視察の時期としては、相手方の日程のこともあり1月中旬から2月

初旬までの間で調整したいと考えている。

相手方である長門市教育委員会から提案もあり、学校での説明も調整したいとのことであったので併せてお知らせする。

具体的な視察実施日については、委員方が多数出席できる日をまとめ、長門市教育委員会と調整させていただき別途お知らせする。また、委員方皆様から質問事項等があれば、事前に先方にお伝えし、視察日当日にご説明いただくこととしたいと考えているので、事務局までお知らせ願う。

石本教育長

コミュニティ・スクールについては今までも教育委員会の中で話が出たことであるので、委員方のご承知はしておられるが、文部科学省が出している様な冊子であるとか、概略をまとめた資料を事前に各委員に送り、見ていただきたいと思う。

湯浅係長

承知した。

石本教育長

視察は、今あった様に1月中旬から2月上旬のところで委員方のご都合の良い日に、長門市教育委員会と合わせて、長門市内の学校へ出向いてお話を聞くといった様なことで進めているので、また日程が決まればご連絡させていただく。

他に何かあるか。

湯浅係長

特になし。

委員方

特になし。

次回定例会日程

定例会 1月29日(月) 13時30分から 浜田公民館図書館

次々回定例会日程

定例会 2月14日(水) 13時30分から 浜田市北分庁舎2階会議室

14:33 終了